



XPERISUS

BRANDBOOK

プロローグ

このブランドブックを開いていただき、ありがとうございます。

エクスペリサスのロゴや用いているカラー、書体には、

実は一つひとつに理由があります。

私たちが旅や体験を通じてどんな価値を届けたいのか――

それを、色やかたち、余白に翻訳した結果が、

今のデザインであり、私たちのブランドそのものです。

ヒントにしたのは、日本の美意識を世界へ手渡してきた人物や流派です。

“Wabi”を世界へ広める立役者の一人であるアクセル・ヴェルヴォールト

クリムトやウォーホルにまで影響を与えた琳派、

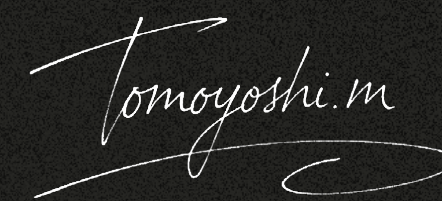
大阪から世界の前衛へ躍り出た吉原治良。

彼らが辿った道の先に、私たちは自分たちのブランドを創り出しました。

この一冊を通じて、私たちが大切にしてきた「足すのではなく、そぎ落とす」

という美意識を少しでも感じ取っていただければ幸いです。

エクスペリサス株式会社



丸山 智義 代表取締役

Tomoyoshi Maruyama

AGENDA

旅が、人生を変えていく。
To travel is to change your life

Foundation

- 6 Brand Story
- 7 Purpose
- 8 The Journey To Our Purpose
- 9 Core Value

Visual Identity

- 11 Logo
- 14 Brand Color
- 17 Typography

Brand Collateral

- 20 Brand Collateral
- 21 Name Card



FOUNDATION

Brand Story

Purpose

The Journey To Our Purpose

Core Value

BRAND STORY

感性を拡張する ということ。

新たな発見は、新たな知見となり、
新たな知見は、新たな発想をもたらす。

そうして自身の感性の幅を広げていくことを、
「人生を豊かにしていくこと」と
エクスペリサスは考えます。

たった一つの旅や体験が、
あなたのこれまでとこれからを、
大きく変える人生の岐路になる。

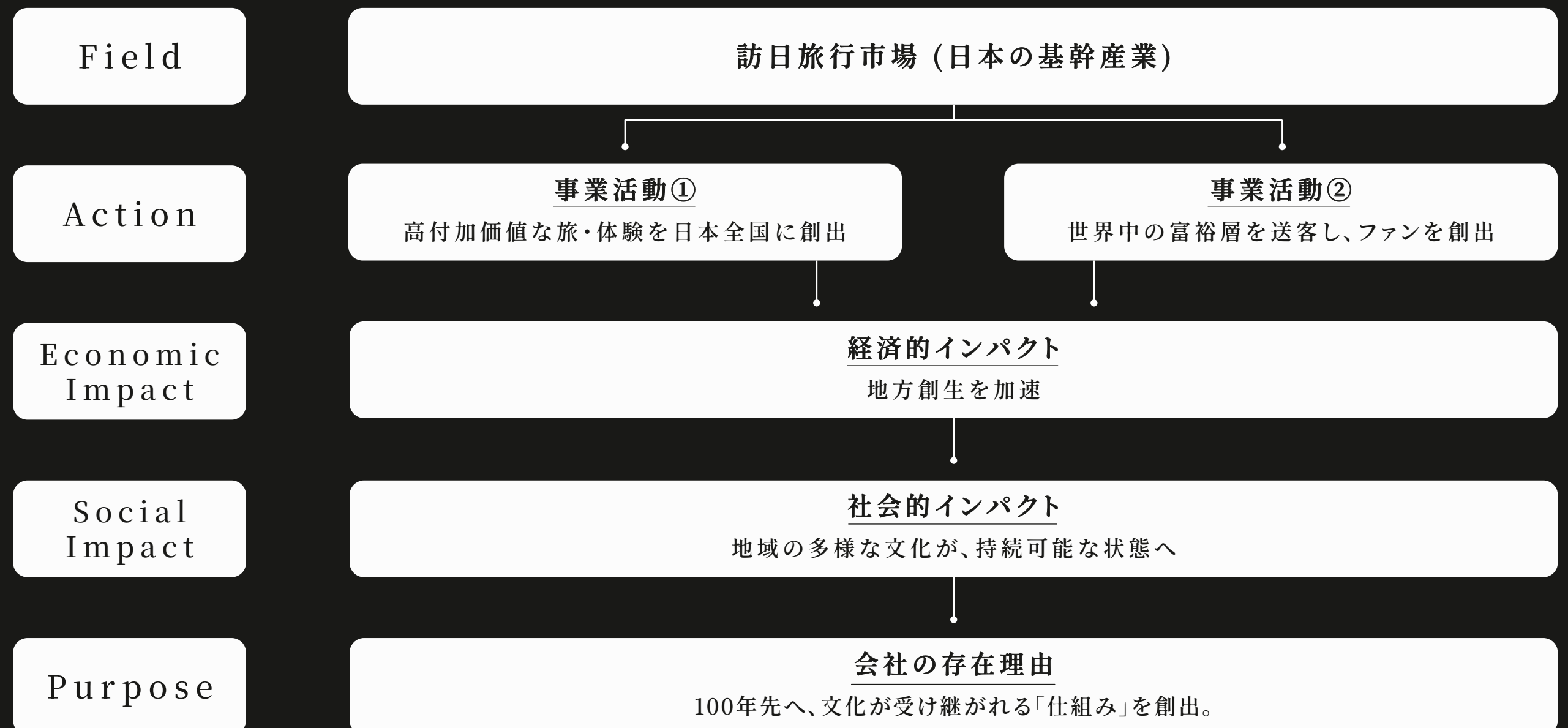
日本が元来持つ、
ありのままの価値と本質的な豊かさを、
旅という形に変えて。

PURPOSE

100 年先へ、文化が 受け継がれる「仕組み」を創る。

日本各地に高付加価値な旅・体験を構築し、
世界中の富裕層を持続的に送客する“社会インフラ”を実装することで、
日本のファン（＝支援者）を創出し、地方創生を加速させる。
地域の多様な文化が経済的に持続可能となり、
次の世代へと受け継がれていく「仕組み」を維持し続ける事で、
日本を豊かに、人々を幸せにする。

THE JOURNEY TO OUR PURPOSE



CORE VALUE

誠実

エクスペリサスは性善説がベースであり続けたい。
だからこそ、「誠実であること」を、最も大切な
価値観とする。

Purpose Driven

日本の文化は刻一刻と消えつつある。
最速でPurposeを実現するにはどうすれば
いいかを常に考え、素早く行動する。

AI Narrative

AIが「効率の領域」を、人が「意味の領域」を担う。
AIと人が共進化可能な組織を構築し、新しい価値
を創出し続ける。

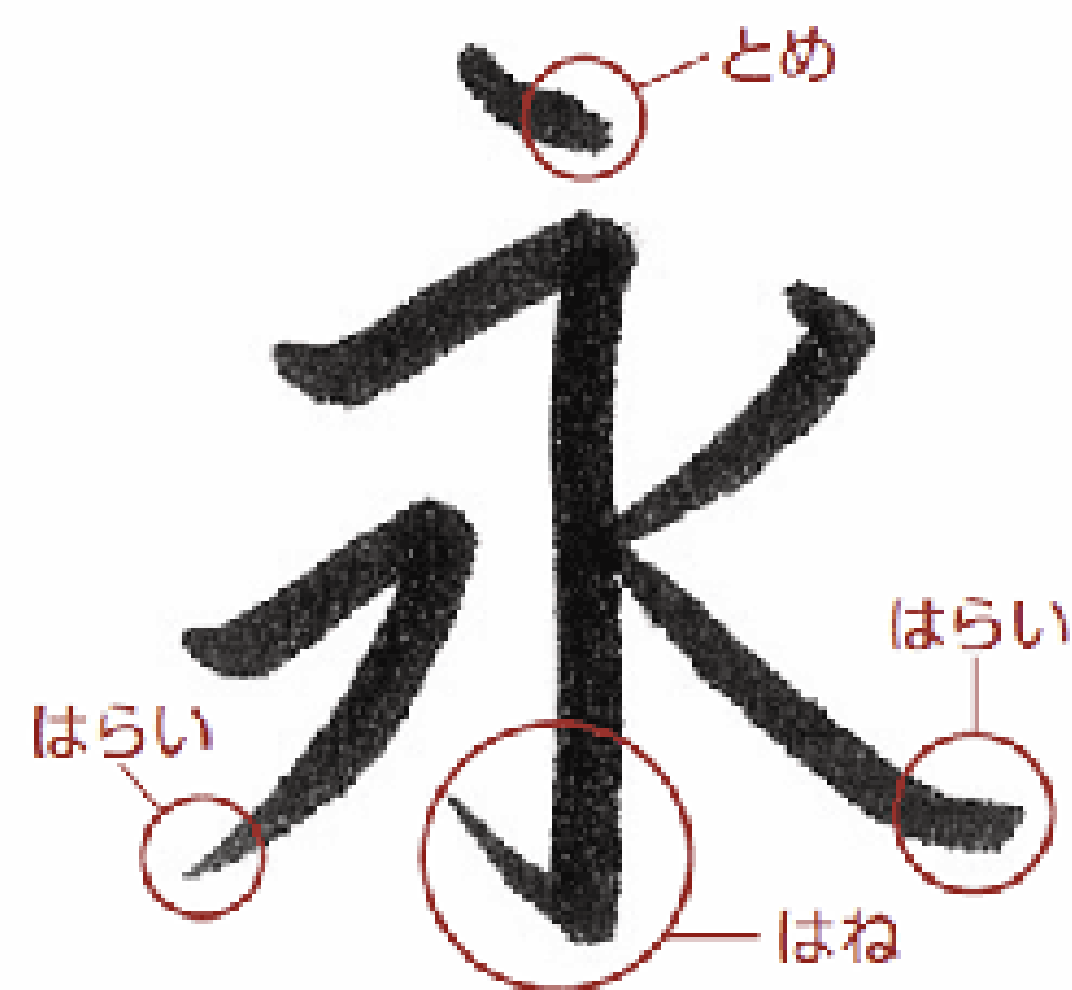


VISUAL IDENTITY

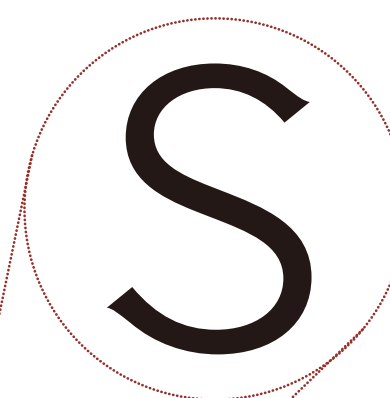
Logo

Color

Typography



XPERISUS

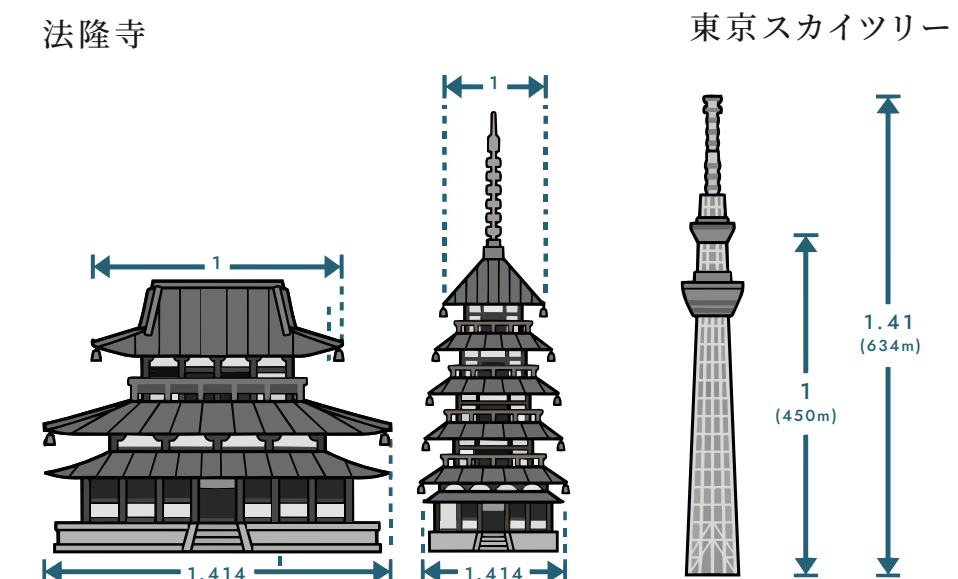
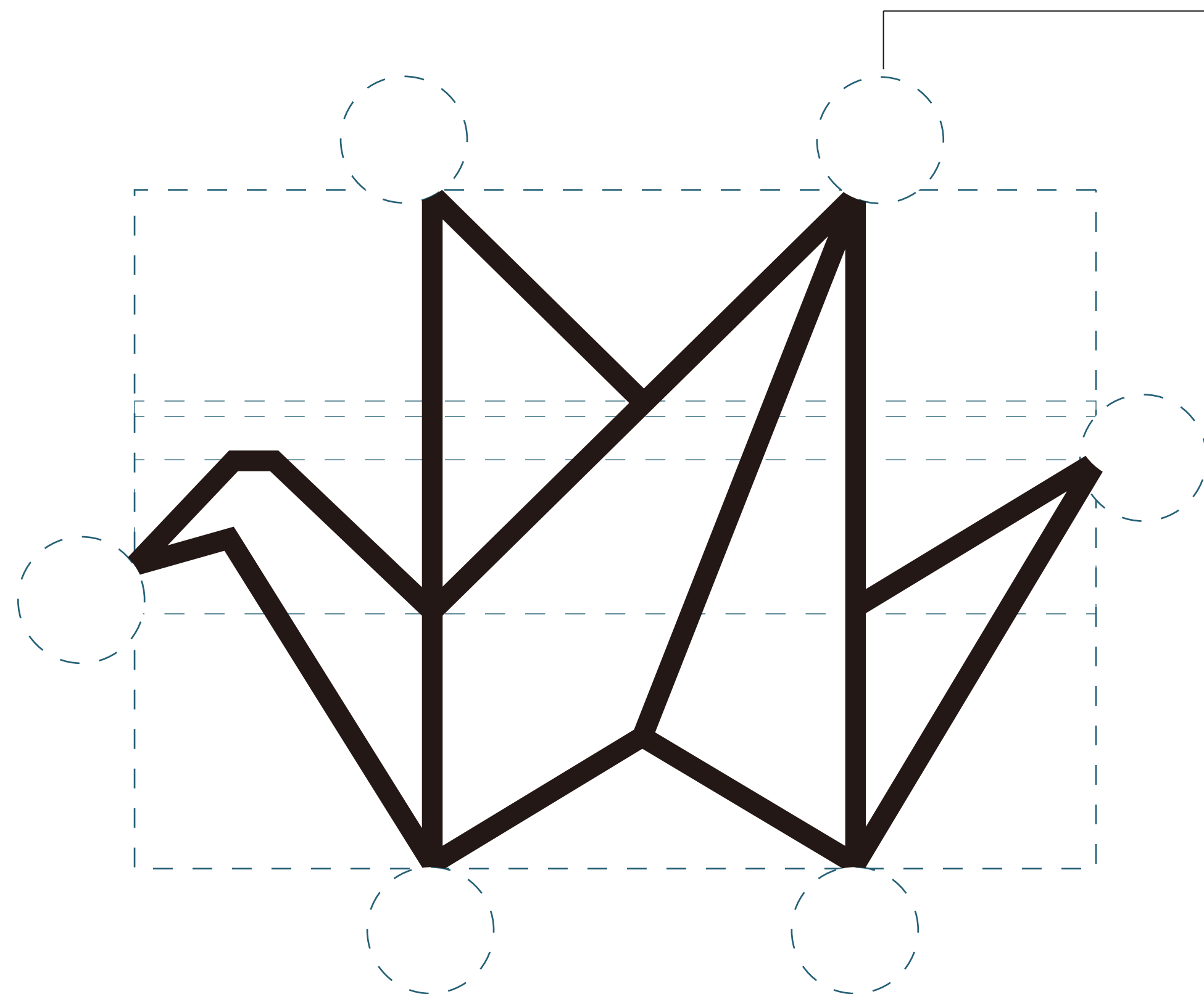


XPERISUS

XPERISUS

LOGO CONCEPT

本ロゴは、欧文でありながら、漢字・かなに潜む「とめ・はね・はらい」の発想をそこはかとなく忍ばせている（とりわけ末尾”S”の跳ね）。余白を生かす佇まいは、「侘び」の美意識に。
末尾”S”の一面に集約させる操作は「具体」の”純化”を意識している。



SYMBOL 折り鶴 × 白銀比

一枚の紙から、手で、何も足さずに形を生み出す折り紙。

切ることも足すこともせず、ただ「折る」だけで形が立ち上がる——

それはまさに引き算の美であり、日本の文化そのものの象徴である。

しかも、正方形を折り進める過程では、ある比率が自然と立ち現れる。

白銀比 ($1 : \sqrt{2} = 1.414$) だ。

西洋規範の黄金比 ($1 : 1.618$) とは異なり、千年以上前から現代に至るまで

日本の随所で見られてきた。別名「大和比」とも呼ばれる、日本独自の、

時を超える美 (timelessness) だ。

法隆寺金堂・五重塔から伊勢神宮、平安京の街並みにまで通底し、現代では

ドラえもんやピカチュウの「かわいさ」にまで息づく。

XPERISUSのシンボルは、この白銀比で整えられている。

装飾を足すのではなく引き算だけで生まれる折り鶴は、侘びの“引き算の美”と

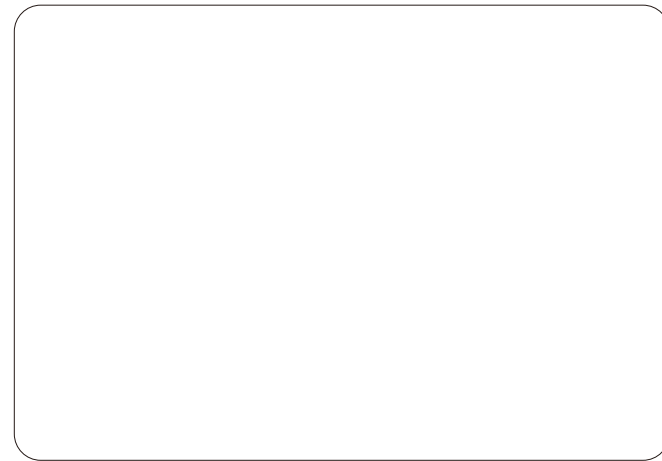
“時を超える美”を、一つの形のなかで同時に体現している。



BRAND COLOR

Main Color
Accent Color

MAIN COLOR



RGB R255 G255 B255
HEX #FFFFFF



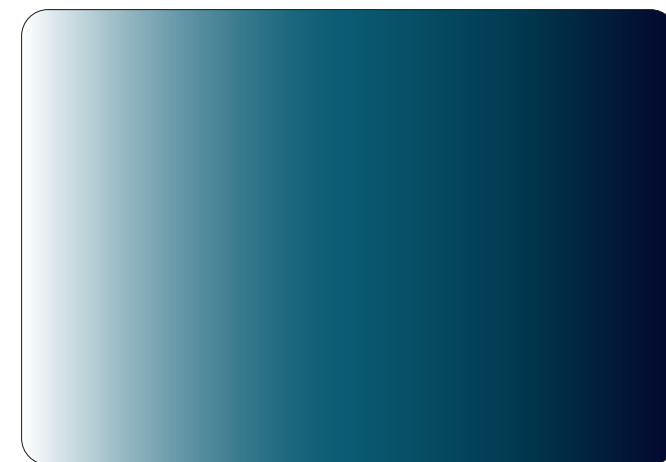
RGB R25 G25 B23
HEX #191917



RGB R224 G195 B168
HEX #E0C3A8

RGB R36 G122 B143
HEX #247A8F

RGB R2 G33 B79
HEX #02214F



RGB R255 G255 B255
HEX #FFFFFF

RGB R36 G122 B143
HEX #247A8F

RGB R2 G33 B79
HEX #02214F

BRAND COLOR

ロゴのグラデーションは、肌色から、青へと移ろう。

これは、文化の象徴である折り紙（折り鶴）が、
海外のお客様を、日出ずる国＝日本という光の方へ連れてゆく
——その発想から生まれた色だ。

また肌色は、太陽の光に加えて、人間らしさを表し、
青は、空・海を想起させるだけでなく、
知性・信頼を表現している。

「温かみがある人の価値」と、Professionalismを、
このBrand Colorのグラデーションで表現している。

ACCENT COLOR

Aa



くれない
紅

RGB R200 G24 B30
HEX #C8181E

Aa



むらさきしきぶ
紫式部

RGB R144 G51 B109
HEX #90336D

Aa



はいざくら
灰桜

RGB R250 G219 B225
HEX #FADBE1

Aa



こがね
古金

RGB R196 G164 B114
HEX #C4A472

BRAND COLOR

紅は、日の丸を象徴する色。

情熱と、凛とした意志を宿す格調高い赤。

紫式部は、日本人なら誰もが知る女性文学の象徴。

知性と信頼を語る、深い秋の紫。

灰桜は、日本を代表する花・桜に由来する淡紅。

主張しすぎず、全体に余白と調和をもたらす。

古金は、琳派の“金地（きんじ）”と“白と金の対”の直接的な継承。金屏風・襖絵・漆の金が、暗い室内で沈んだ光を返すために選ばれた素材であるという、日本の陰翳の美学（谷崎潤一郎『陰翳礼賛』が言語化）に基づく。



BRAND

TYPOGRAPHY

Main Font for english

NOTO SERIF Medium

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

Extra light

Bold

ENGLISH MAIN FONT

Noto Serif は、筆脈を想わせる線の抑揚をたたえた欧文書体である。ヘアラインと縦画の明確なコントラスト、そして字画の終端に見え隠れする「とめ・はね・はらい」——ラテン文字でありながら、書の運びの気配を随所に宿している。

この佇まいは、当社の LOGO Concept と深く響き合う。ジオメトリック・サンセリフを基盤に「とめ・はね・はらい」を微細に忍ばせた、ロゴタイプの和洋折衷。その筆脈を、見出しから本文の一文字一文字にまで一貫させるための選択が、Noto Serifである。

和文メインフォント

源雲明朝 M

「旅が、人生を変えていく。」

新たな発見は、新たな知見となり、新たな知見は、新しい発想をもたらす。

そうして自身の感性の幅を広げていくことを、

「人生を豊かにしていくこと」とXPERISUSは考えます。

たった一つの旅や体験が、あなたのこれまでとこれからを、大きく変える人生の岐路になる。

日本が元来持つ、ありのままの価値と本質的な豊かさを、旅という形に変えて。

L



SB

JAPANESE MAIN FONT

源雲明朝は、字画の終端に宿る「とめ・はね・はらい」に加え、
インクが滲んだような墨溜まりの表情を特徴とする。筆が止まり、
墨が沈む一点に、運筆のすべてが凝縮する。

その一点への凝縮は、吉原治良が黒地に白い円をただ一筆で
描いた「具体」の代表作『円』とも通じ合う。均質になめらかに整える
のではなく、墨という物質そのものの挙動と、筆を運んだ行為の痕
跡を、文字のなかにそのまま生かしている。



BRAND COLLATERAL

Brand Collateral
Name Card

BRAND COLLA- TERAL

ブランドコラテラルは、
名刺・封筒・レターからノベルティまで、
お客様がXPERISUSに触れる最初の
「接点」。私たちはそのすべてを、単なる
ツールではなく、ブランド体験を構成する
一要素として捉える。

過度な装飾を避け、余白を活かす
「引き算」。ロゴと折り鶴、そして一筋の
グラデーションだけで、静かで上質な
存在感を立ち上げる。派手さではなく、
余白やWabiといったXPERISUSの
プロトコルを、すべてのタッチポイント
に一貫させ、世界観を統一する。
そうして「感性を拡張する」という
Brand Missionを、あらゆる
ステークホルダーへ届けにゆく。





NAME CARD

小さな一枚に、ブランドのすべてを凝縮する。
装飾を削ぎ、ロゴと折り鶴、そして一筋の
グラデーションだけで語る。
その一筋は、肌色から紺青へと移ろう
「夜明けの光」——文化の象徴である折り鶴
が、お客様を、日出ずる国＝日本という光の方
へ連れてゆく。

裏面には、
XPERISUSのキーメッセージを添える。
「旅が、人生を変えていく。／
To travel is to change your life.」

エピローグ

ここまでご覧いただき、ありがとうございます。

“Wabi”とは、余計なもの・作為的なものをすべて削ぎ落とし、

簡素・謙虚・本物であることに宿る美であり、立ち止まり、時間と向き合わせる「生き方」でもあります。

私たちが「旅」を通じて差し出したい価値も、「派手」や「豪華」で驚かせることではありません。

日本が元来持つ、ありのままの価値と本質的な豊かさを、世界に届けること。

過剰さではなく、余白と本物で感動させる——Wabiは、私たちの美意識そのものです。

私たちのシンボルである折り鶴のかたちに宿る白銀比も、流行ではなく、千年生きてきた比率に佇まいを

委ねた結果です。切ることも足すこともせず、ただ折るだけでつくられる一つの作品。

引き算から形が生まれる——そこに、時を超える美があると考えています。

一方、日本には「絢爛」という美もあります。侘びが白と余白で語るなら、琳派は金で語る。

私たちは、その静と華、二つの日本の美をあわせ持ちたいと思っています。

そして、本質だけを純化させること。吉原治良が生涯、円という一つの形に向き合い続けたように、引き

算の果てに、これまでにないものを立ち上げること。

それは、私たちが目指す「今までにないもの」「革新的」であるという姿勢そのものです。

すべてに通底しているのは、「感性を拡張する」という一つの思いです。着飾らず、本質だけを静かに差

し出す。余白と本物で、旅そのものを、そして旅の後の人生までも、しずかに変えていく。

旅が、人生を変えていく。